

家族での取り組みから見たもの①—世界に通じる力を育てる—第 102 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

日々感染拡大のニュースが流れ、『外出自粛』と叫ばれる中、【人と一緒に】ということをもットーとしている私たちの活動も、多くの事を制限せざるを得ない状況になっています。

しかしながら、それでもなんとかして人と一緒にやるために、現在はオンラインで様々な試みを行っています。

奇しくも今年のセルラスのテーマとして掲げたのは『日常生活にもっと多言語を』でした。

臨時休校の影響で良くも悪くも家族が長い時間を家で一緒に過ごせる今、お子さんたちと一緒に多言語活動を実践してみたご家族が、様々な変化を報告してきてくださっています。

今回はその第 1 弾ということで、今年中学校に入学した息子さんを先頭に、3 人のお子さんをお持ちのお母さんの報告を掲載いたします。

ぜひ、じっくりとお読みください。

『一緒にやるってすごい!』

東京都在住 本田七重さん 家族構成：夫・長男(12 歳)・次男(7 歳)・長女(4 歳)

私たちは 2018 年の 12 月に入会し、セルラスを始めてもうすぐ 1 年半になろうとしています。

今年の始めのピアザ(※1)で、『家族の短期目標を立てよう』ということになり、我が家は

『家族で毎日 CD を聴いてシャドウイング(※2)をしよう』というのを目標にしました。

今まで我が家では、朝食前から CD を流し、多言語を聞きながら朝ごはんを食べるのを習慣としていました。

しかし、朝はバタバタしていて、ろくにシャドウイングはできていませんでした。

音はなんとなく耳には残るのですが、いざ多言語でロールプレイ(※3)をしようと思っても、なかなか体が動かないのを感じていました。

そこで『家族みんなで集中的にシャドウイングする時間を作って、なるべく動こう!』というのを目標に追加しました。

※1) ピアザ：週に一回各地域で集まり、老若男女が一緒に多言語活動を行う場。(現在は感染拡大防止のため、オンラインで行っています)

※2) シャドウイング：CD の音声に合わせて、影のようにくっついて声を出すこと。現在はそれに合わせて動きを付けたりもしている。

※3) ロールプレイ：ストーリーを立体化させるために、それぞれの役に分かれて、その人物の感情や背景などもみんなと一緒に表現する。

一人で全役をやるワンマンロールプレイもある。

【一緒にやりたがらない子供たち…】

今年中 1 の長男は、「家族でやるよりも 1 人でシャドウイングやロールプレイはやりたい」と言い、それに同調した 7 歳の次男も 1 人で CD を聴いてはブツブツ言っていました。

「子供たちと一緒にできるのは今だけよ～」という話を同じピアザのお母さんから聞いていた私は、やはり子供たちと一緒にやりたいと思い、少しご褒美作戦などもしてみたりしました。

しかし、そうまでしても『家族みんなでやりたい!』という私の想いは子供たちには全く届かず、私は開き直ってキッチンやらお風呂で、1 人でシャドウイングやロールプレイをするようになりました。

【やっぱり一緒にやりたい！】

今年の2月始め、他のピアザメンバーが楽しげに家族で多言語ロールプレイをしている動画を見ました。それは私にとって衝撃的な映像で、家族が仲睦まじくロールプレイをしている姿は、私が夢にまで見た憧れの姿でした。

そのご家族のお母さんは

「週に一度動画を撮る日を決めてやり始めたんですよ。動画を撮ると変化もわかりやすいから、子供達も楽しいみたいです。」と話していました。

そこで私は息子たちに頼みました。

「誰かに見せたいわけではない！今あなたたちと一緒にロールプレイに取り組んで、それを動画で残してみたい！どうか親孝行だと思って付き合ってください！」

その時の私は、おそらく目は血走って半泣きだったと思います。

にもかかわらず、「お母さんとはやりたくない。」とあくまで言いきる長男。

【いつ命がなくなるかわからないから、後悔の無いように生きよう】と常々思っている私の想いも手伝って、「お母さん、いつ死ぬかわからないんだから！」と、半分脅しのようなことまで口走るほど私は真剣にお願いしました。(ちなみに私の健康状態に問題はありませし、ちょっと言い過ぎたかな？と今は反省しています)

そんな私の鬼気迫る懇願に、息子たちは渋々ながらもOKをしてくれました。

そして毎週土曜日、お昼ご飯を食べた後にロールプレイ動画を撮影することが決まりました。

【一緒にやっていく中で変化が…】

最初は、嫌そうに義務感だけでやってくれていた感じの長男でしたが、撮影した動画を見るたびに段々とロールプレイの動きが大きくなっていきました。

そしてストーリーに出てくる人物の細かい背景設定をどんどん加えてくるようになり、やっている最中に大笑いすることも多くなりました。

気が付くと次男や当時3歳の娘まで参加するようになっていました。

特に、『バレンタインの日』という設定でやった時は、みんなで大爆笑でした。

登場人物の1人、長男で中2の勇氣は1個もチョコをもらえずへこんでいて、長女で小6の明日香は告白してうまくいきウキウキしている、という設定でした。

そんなこんなで気が付くと私も息子につられてだんだん動けるようになってきていました。

そこからは、次男が今までやったことのなかったワンマンロールプレイをしたがるようになり、それを真似して娘もやる気満々になり、いろいろなことが大きく変化してきているのを感じています。

1人ではなかなか出来ないことでも、みんなでやるとこんなに楽しめるのかと驚きましたし、

今は子供たちと一緒にセルラスの活動ができることが幸せだと感じています。

少しずつかもしれませんが、これからも小さな目標を家族で立てて、一緒にやっていきたいと思っています。

いかがでしたでしょうか？

『家族で一緒に！』というお母さんの強い想いが、子供たちの大きな変化につながっていったのですね。

セルラスではロールプレイはただの演技ではなくコミュニケーションの一環だとよく言っています。

普段よりも家族と一緒にいる時間が長い今だからこそ、『どのようなコミュニケーションをとるか』ということ
は日々考えさせられますね。

そんな中で、親も子も全く平等な立場で一緒に創ることのできるロールプレイはコミュニケーションのツール
として最適なのではないかと、本田さんの文章を読んで感じました。

<セルラスインフォメーション>

◆講演会情報

4月の講演会は感染拡大防止のために全て中止とさせていただきました。

お申込みくださいました皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

心よりお詫び申し上げます。

今後の講演会情報につきましては、状況により変化いたしますので、HPでご確認くださいませう、
お願い申し上げます。

<http://www.celulas.or.jp>

◆事務所休業のお知らせ

セルラスでは東京都の緊急事態宣言を受け、5/6まで事務所を閉鎖し、現在テレワークにて業務を行っております。

すぐにはご返信ができませんが、御用の方は留守番電話にメッセージをお入れいただくか、下記のアドレスまで
ご連絡ください。

確認次第、必ずこちらからご連絡をさせていただきます。

↓

info@celulas.or.jp

★メルマガをお読みになった皆様のご意見、ご感想を是非お寄せください。

今後の配信の参考にさせていただきます。

アドレスはこちら

↓

kouhou@celulas.or.jp